

室生の  
伝統芸能

# 室生の獅子舞 (奈良県指定無形民俗文化財)



遙か昔、室生寺領と天領に分かれて絶えず仲たがいをしていた若衆が、安政6年(1859年)室生寺寺院の一つである護摩堂の火事の時、力を合わせ消火や復興につくしたことで、室生寺からその謝礼として太鼓台と2頭の獅子が贈られたのが「室生の獅子舞」の始まりと伝えられている。

毎年10月の龍穴神社の秋祭りには、室生寺内の天神祠前で獅子を舞い、その後、龍穴神社までお渡りが行われ、神社境内で鈴の舞、魔除け、剣の祓い、荒獅子を舞う。「室生の獅子舞」は伊勢大神楽の影響もあるが、本来持っていた芸能も受け継いでいるため、南都興福寺や春日大社の神楽が認められるところに特色がある。

古来より室生の誇る民族芸能として大切に地域に伝承されてきた「室生の獅子舞」。これを絶やすことなく次世代に引き継ぐため、昭和55年6月に地元有志が「室生神楽保存会」を結成。現在も伝承活動に努めている。

室生の  
伝統芸能

# 室生青龍

古くから神々が宿る特別な場所に由来する室生。善女龍王をまつり龍神信仰の聖地として霊験あらたかな龍穴神社をはじめ、龍宮寺として建設された室生寺は太陽信仰の聖地でもある。吉祥龍穴、持宝吉祥龍穴、沙羅吉祥龍穴の三龍穴、九穴八海の奇勝地は、霊水の神仙峽をも彷彿させる。

また、山深い山峽を流れる龍神溪谷の上流にある上龍鎮を青龍神、下流の下龍鎮を赤龍神と言い伝えられ、龍(蛇)は水神として、また、永遠の命と大地に潤いをもたらす繁栄をもたらす神として崇められてきた風土や精神文化が息づき、敬虔な村人によって新たに龍王社がまつられている。

「二つの舞い」は、雄雌の龍が絡み合う舞踊で、子孫繁栄、五穀豊穡、恒久平和等への願いがこめられている。

自然そのものに神が宿るとする古代の信仰を尊び、室生の精神文化を後世に伝えるために、新たな伝承芸能として「二つの舞い」を誕生させた。



室生の  
伝統芸能

# 室生龍穴太鼓「龍神」

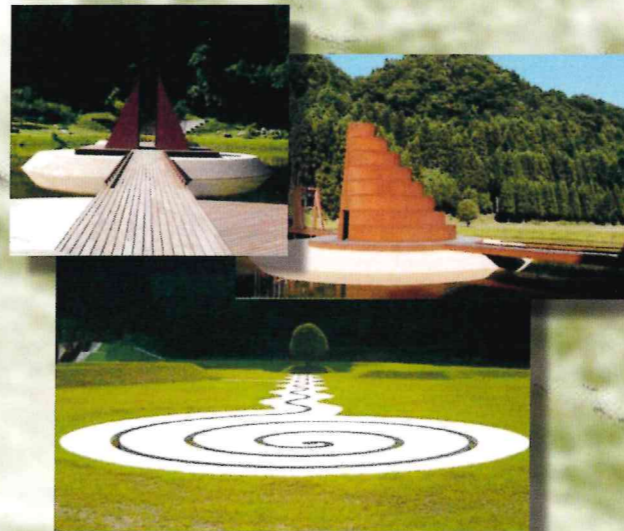


室生龍穴太鼓「龍神」は、室生寺の五重塔や室生龍穴神社など文化遺産や豊かな自然に恵まれたこの室生の地で、伝承芸能として次の世代に引き継いでいきたいという強い思いから、1999年女性ばかりで立ち上げた和太鼓集団です。結成当初、わずかな人数から始めましたが、現在では、小さな子どもから男女問わず若者もメンバーに加わりました。

様々な場所や地域での演奏活動を通して、室生の素晴らしさを知っていただくと共に、今後も室生の伝統芸能室生龍穴太鼓「龍神」の演奏を、多くの方に聴いていただけるよう、太鼓を打つことができる喜びと感謝を忘れず、人と人とのつながりを大切にしていきたいと思っております。そして、聴いて下さる方々が、それぞれの心で「何か」を感じていただきたい。

室生の  
公園

# 室生山上公園 芸術の森 Murou Art Forest DANIKARAVAN



世界的に著名な作家、ダニ・カラヴァン氏の想いのもと設計されたこの公園は、公共事業と芸術が融合したパブリックアート。

自然の素晴らしさや季節、時間の流れを全身で感じることができます。まさに「芸術の森」の名のとおり公園全体が風景彫刻であり、世界に誇れる作品です。樹、光と影、風、水、時間、生き物、そしてモニュメントが融合した芸術。

ぜひ、ご自身の五感で自然と向き合い、自然に生かされていることを体験してみてください。そして、都会の喧噪から離れた、ゆったりとした空間と時間をお楽しみください。

## ようおこし 室生の里へ

～みどころマップ～



室生地区まちづくり協議会

### ● ようおこし室生の里へ ～みどころマップ～ 室生地区内ガイド ●

食事処 喫茶	① 橋本屋	④ お食事処 中村屋
	② 室生草もち本舗・喫茶むろう	⑤ 辰巳家
	③ よもぎ入り回転焼き 栄吉	⑥ 室生よもぎ餅 本舗 もりもと
宿泊	⑦ 民宿むろう・古民家カフェ富	
	⑧ 橋本屋旅館(本館)	
その他	⑨ 一刀彫 彫刻 一夜堂	⑫ 井筒屋
	⑩ 粉川家	⑬ だるまや
	⑪ 藤嶋屋	⑭ 野口商店